

特別支援学校教員の自己決定の捉えに関する研究

—KHCoder による共起ネットワークと自己組織化マップを用いたテキスト分析から—

山口 明日香(高松大学)

前原 和明(秋田大学)

土肥 靖人(千葉県立特別支援学校 流山高等学園)

萩原 真由美(米国サンフランシスコ州立大学)

八重田 淳(筑波大学)

KEY WORDS: 自己決定力(Self-determination) 自己理解支援 自己組織化マップ

【問題の所在と目的】

米国では、1990 年代から Self-determination(自己決定)に関する研究が盛んになり、学校から職業への移行支援における重要な概念として取り扱われてきている(Shogren.et.al,2015)。障害のある生徒や学生が、教育機関卒業後に安定した職業自立を目指すにあたり、自己決定力(Self-determination)を高め、自己理解を深めることは重要である(山口(藤井),八重田,2018)。自己理解は、自分の力を発揮するために必要な支援や合理的配慮などを考える上で基盤となるものであり、自らの進路や生き方や生活の全ての場面において、自らの意思で選択し、決定していくための基点となる。本研究では、特別支援学校の教員を対象に「教員自身の考える自己決定」に関する調査を実施し、その自由記述から、そのキーワードや捉えを明らかにすることを目的とする。

【方法】

1. 対象及び実施期間

Y 県特別支援学校 1 校と Z 県の高等特別支援学校 1 校の教員を対象に、2020 年 6 月 30 日から 10 月 30 日にオンライン調査を実施した。具体的な設問は「あなたの捉える「自己決定」とはどのようなものだと考えているか教えてください。」とし、自由記述による回答入力に依頼した。

2. 分析

回答者 92 名の内自由記述を記入した 86 名の記述を分析対象として、KHCoder3 を用いて計量テキスト分析を実施し、出現頻度の高い語を抽出し、出現パターンや共起関係の高い語を共起ネットワークによって視覚化した。また自己組織化マップ(SOM: Self-Organizing Maps)を用いて語の組織化を行った。

3. 研究倫理及び利益相反について

本研究の実施は、高松大学研究倫理審査委員会(高大研倫審 2020001)によって承認されており、報告すべき利益相反はない。また本研究は、「科学研究費助成事業 20K14056『障害学生及び生徒の就労移行支援に関する e ラーニングトータルプラットフォームの開発』」の一部となっている。

【結果】 語の抽出の結果、150 語が抽出された。頻出の高い順から 20 位までの語とその出現回数は、「自分(88)」,「決める(46)」,「判断(21)」,「考える(19)」,「選択(17)」,「決定(16)」,「自身(12)」,「意思(11)」,「行動(9)」,「責任(8)」,「考え(7)」,「自ら(7)」,「物事(6)」,「意志(5)」,「情報(5)」,「選ぶ(5)」,「選択肢(5)」,「力(5)」,「決断(4)」,「自己(4)」であった。これらの 150 語の共起ネットワークを作成した(Fig. 1) また、自己組織化マップは、語がその語自身が似た多次元ベクトルをもつものを自己組織的に近傍に学習配置されることから、語の類型化を視覚的に近いために自己組織化マップを作成した(Fig. 2)。

【考察】 本研究の結果、「自己決定」は、「自分」で「考え」、「判断」し「決める」ことであり、「情報」を「収集」し、「周囲」の「意見」を「参考」に「最終」で「選択肢」

や「選ぶ」なかで「納得」や「理解」をしながら「意思」を「決定」することであると考えられていると推察された。また「本人」の「生き方」を「進路」や「場面」で「方向」づけるものであり、「他者」へ「思い」を「伝える」「手段」であるとも捉えられていると考えられる。自己組織化マップでも、「未来」「力」「人生」「関わる」「自ら」「思い」が組織化されており、自己決定は、主体的に人生を選択していくためのキーワードとなっていることが明らかになった。

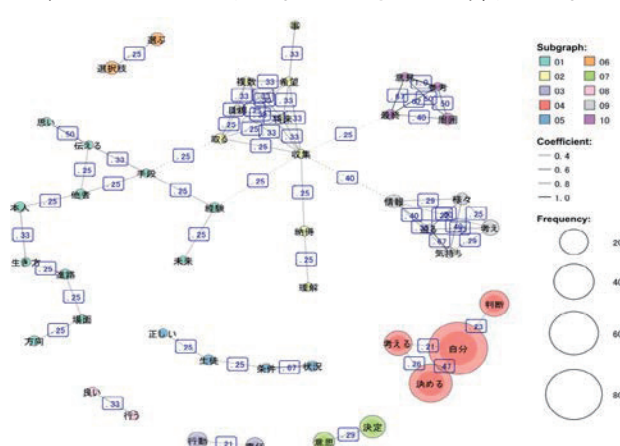


Fig.1 自己決定の共起ネットワーク

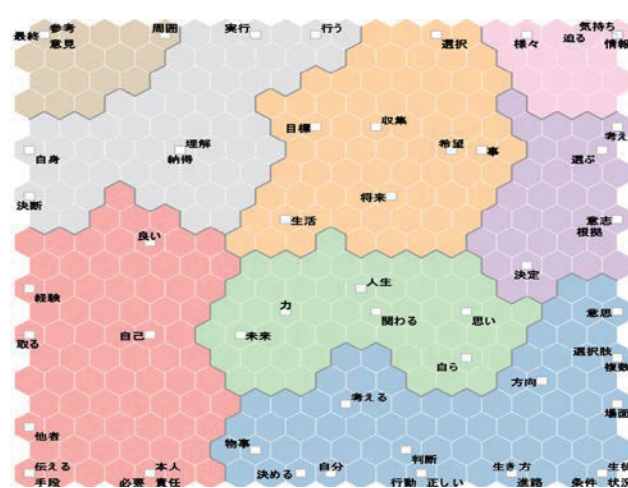


Fig.2 自己決定の自己組織化マップ

【引用参考文献】

- Shogren, Wehmeyer, Forber-Pratt, Little, & Lopez (2015) Causal agency theory: Reconceptualizing a functional model of self-determination. *Education and Training in Autism and Developmental Disabilities*, 50, 251-263.
- 山口(藤井)明日香・八重田淳(2018)高等教育期間における障害学生支援と職業リハビリテーション機関との連携・発達障害のある障害学生を中心とする支援動向と課題に焦点を当てて、職業リハビリテーション,32(1),23-24.
- (YAMAGUCHI Asuka, MAEBARA Kazuaki, DOI Yasuhiro, HAGIWARA Mayumi, YAEDA Jun)